

科目名	管楽アンサンブル演習Ⅱ	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	上田 仁	単位	2	年次	2

### ＝授業科目の目標＝

個人レッスンでは学ぶことの出来ない、共演者の音を聴きながら演奏出来る力を身に付ける。  
テンポ、リズム、イントネーション、フレージングを揃え、クオリティの高い演奏を目指す。  
聴衆を楽しませる、感動させる演奏を目指す。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

任意にグループを作り、受講曲を選択しやすい編成を組織する。  
授業に耐えうるように、自身のコンディションの整え、楽器のメンテナンスを怠らず、事前に譜読み、合わせを出来るもの、またはその意欲があるもの

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス 履修者の編成、受講曲の選択について計画を立てる。楽譜の準備の指示。
- 2回 実技レッスンを開始、まずは簡単なコラールを使って聴く力を身に付ける。(グループ1)
- 3回 簡単なコラールを使って聴く力を身に付ける。(グループ2)
- 4回 簡単なコラールを使って聴く力を身に付ける。(グループ3)
- 5回 各々の選択した楽曲に取り組む。まずは大まかに曲全体を把握する。(グループ1)
- 6回 各々の選択した楽曲に取り組む。まずは大まかに曲全体を把握する。(グループ2)
- 7回 各々の選択した楽曲に取り組む。まずは大まかに曲全体を把握する。(グループ3)
- 8回 イントネーション、リズム、アーティキュレーションを揃え、ミスの少ない演奏を目指す(グループ1)
- 9回 イントネーション、リズム、アーティキュレーションを揃え、ミスの少ない演奏を目指す(グループ2)
- 10回 イントネーション、リズム、アーティキュレーションを揃え、ミスの少ない演奏を目指す(グループ3)
- 11回 フレージングや本番時の演奏のテンポを定め、必要があればさらに修正を加える。(グループ1)
- 12回 フレージングや本番時の演奏のテンポを定め、必要があればさらに修正を加える。(グループ2)
- 13回 フレージングや本番時の演奏のテンポを定め、必要があればさらに修正を加える。(グループ3)
- 14回 ジェネラルプローブ。各グループが本番のように演奏し、意見交換を行い、本番に備える。
- 15回 演奏会

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況、グループの中で積極性を持ち演奏や役割を果たしているか。意欲的に授業に参加出来ているか。  
演奏能力よりも積極性や意欲を高く評価する。

### ＝テキスト(必携)＝

必要があれば授業内で指示する。